

野村エマーシング・ソブリン 円投資型1303

償還運用報告書(全体版)

第43期（決算日2023年12月25日） 第44期（償還日2024年3月25日）

作成対象期間（2023年9月26日～2024年3月25日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行ない、償還価額が決定いたしました。
ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／債券	
信託期間	2013年3月27日から2024年3月25日までです。	
運用方針	野村エマーシング・ソブリン 円投資型 マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行なうことを基本とします。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。為替ヘッジはマザーファンドにおいて行なうため、原則として行ないません。	
主な投資対象	野村エマーシング・ソブリン 円投資型1303	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村エマーシング・ソブリン 円投資型1303	株式への直接投資は行ないません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への直接投資は行ないません。株式への投資は転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に原則として経費控除後の利子・配当等収益と売買益から、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額				受 益 者 利	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	元 残 存 本 率
		税 分 配	み 金 騰 落	期 騰 落 中 額	期 騰 落 中 率				
(設定日) 2013年3月27日	円 銭 10,000		円 -	円 銭 -	% -	% -	% -	% 100.0	
1期(2013年6月24日)	9,380		60	△ 560	△ 5.6	△ 22.7	96.3	100.0	
2期(2013年9月24日)	9,417		45	82	0.9	△ 9.6	96.5	98.2	
3期(2013年12月24日)	9,357		45	△ 15	△ 0.2	△ 6.6	96.9	97.0	
4期(2014年3月24日)	9,438		45	126	1.3	△ 3.7	96.8	96.2	
5期(2014年6月24日)	9,694		45	301	3.2	△ 0.5	96.5	92.3	
6期(2014年9月24日)	9,664		45	15	0.2	△ 0.3	99.2	81.7	
7期(2014年12月24日)	9,705		45	86	0.9	0.2	96.5	78.3	
8期(2015年3月24日)	9,780		45	120	1.2	0.8	97.4	73.7	
9期(2015年6月24日)	9,671		45	△ 64	△ 0.7	0.4	97.5	62.2	
10期(2015年9月24日)	9,492		45	△ 134	△ 1.4	△ 0.2	95.6	57.0	
11期(2015年12月24日)	9,335		45	△ 112	△ 1.2	△ 0.6	95.4	19.2	
12期(2016年3月24日)	9,652		45	362	3.9	0.7	97.5	17.9	
13期(2016年6月24日)	9,818		45	211	2.2	1.3	92.1	13.8	
14期(2016年9月26日)	9,988		45	215	2.2	1.8	97.4	12.8	
15期(2016年12月26日)	9,501		45	△ 442	△ 4.4	0.5	101.3	12.4	
16期(2017年3月24日)	9,651		45	195	2.1	1.0	94.1	11.9	
17期(2017年6月26日)	9,795		45	189	2.0	1.4	99.6	10.7	
18期(2017年9月25日)	9,843		45	93	0.9	1.5	100.3	9.5	
19期(2017年12月25日)	9,738		45	△ 60	△ 0.6	1.3	96.5	9.3	
20期(2018年3月26日)	9,455		45	△ 238	△ 2.4	0.7	95.1	9.1	
21期(2018年6月25日)	9,214		45	△ 196	△ 2.1	0.3	96.6	9.1	
22期(2018年9月25日)	9,009		45	△ 160	△ 1.7	0.0	99.7	8.7	
23期(2018年12月25日)	8,956		45	△ 8	△ 0.1	0.0	95.8	8.2	
24期(2019年3月25日)	9,147		45	236	2.6	0.4	96.4	8.2	
25期(2019年6月24日)	9,374		45	272	3.0	0.8	97.0	8.2	
26期(2019年9月24日)	9,456		45	127	1.4	1.0	98.2	7.8	
27期(2019年12月24日)	9,381		45	△ 30	△ 0.3	0.9	98.2	7.6	
28期(2020年3月24日)	8,403		45	△ 933	△ 9.9	△ 0.5	99.8	7.5	
29期(2020年6月24日)	9,369		45	1,011	12.0	1.0	96.9	7.3	
30期(2020年9月24日)	9,504		45	180	1.9	1.2	95.1	6.7	
31期(2020年12月24日)	9,772		45	313	3.3	1.5	97.3	6.7	
32期(2021年3月24日)	9,460		45	△ 267	△ 2.7	1.1	100.9	6.7	
33期(2021年6月24日)	9,635		45	220	2.3	1.4	98.7	6.3	
34期(2021年9月24日)	9,592		45	2	0.0	1.3	97.3	6.2	
35期(2021年12月24日)	9,447		45	△ 100	△ 1.0	1.2	99.3	6.2	
36期(2022年3月24日)	8,933		45	△ 469	△ 5.0	0.6	101.7	6.2	

決算期	基準 (分配落)	標準 価 額				受 益 者 利 回 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	元 残 存 本 率
		税 分 配 金	期 騰 落	中 額	期 騰 落 中 率				
	円 銭	円	円 銭	%	%	%	%	%	
37期(2022年6月24日)	8,363	45	△ 525	△ 5.9	0.0	103.4	—	6.0	
38期(2022年9月26日)	8,092	45	△ 226	△ 2.7	△ 0.2	101.8	—	5.9	
39期(2022年12月26日)	8,185	45	138	1.7	△ 0.0	90.5	—	5.9	
40期(2023年3月24日)	8,167	45	27	0.3	△ 0.0	97.1	—	5.9	
41期(2023年6月26日)	8,080	45	△ 42	△ 0.5	△ 0.1	103.7	—	5.6	
42期(2023年9月25日)	7,851	45	△ 184	△ 2.3	△ 0.2	100.2	—	5.5	
43期(2023年12月25日)	8,047	45	241	3.1	△ 0.0	95.6	—	5.5	
(償還時)	(償還価額)								
44期(2024年3月25日)	7,857.39	—	△ 189.61	△ 2.4	△ 0.2	—	—	5.5	

* 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	券 率
第43期	(期 首) 2023年9月25日	円 銭 7,851	% —	% 100.2	% —	% —
	9月末	7,779	△0.9	101.1	—	—
	10月末	7,718	△1.7	97.5	—	—
	11月末	7,941	1.1	92.8	—	—
	(期 末) 2023年12月25日	8,092	3.1	95.6	—	—
第44期	(期 首) 2023年12月25日	8,047	—	95.6	—	—
	12月末	8,056	0.1	95.8	—	—
	2024年1月末	7,865	△2.3	—	—	—
	2月末	7,869	△2.2	—	—	—
	(償還時) 2024年3月25日	(償還価額) 7,857.39	△2.4	—	—	—

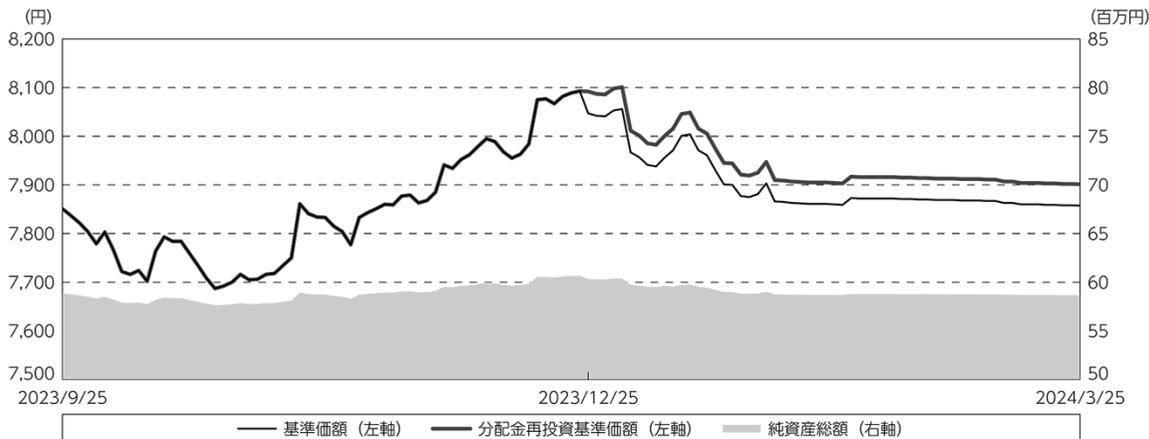
* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第 43 期 首： 7,851円

第44期末(償還日)：7,857円39銭 (既払分配金(税込み)：45円)

騰 落 率： 0.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2023年9月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は0.6%の上昇。

基準価額は、第43期期首の7,851円から第44期期末7,857.39円となりました。第43期に分配金を45円お支払いしましたので、分配金を考慮した値上がり額は51.39円となりました。

(上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン(利息収入)。

(上昇) 保有していた債券の値上がり(キャピタルゲイン)。

(下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

○投資環境

当作成期を通じて、10年米国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

米国では、2023年10月までは、米国の底堅い景気やFRB（米連邦準備制度理事会）の金融引き締め姿勢が意識されたことなどを受けて、10年米国債利回りは上昇（価格は下落）する場面も見られましたが、同年11月以降に、各種経済指標の悪化やFRB高官の発言を受け、FRBの利上げ打ち止め観測、利下げ期待が高まったことなどから10年米国債利回りは低下に転じました。

米ドル建てエマージング国債市場全体の対米国債スプレッド（利回り格差）は、縮小しました。

ブラジルでは、2023年10-12月期のGDP（国内総生産）が前年同月比+2.1%となり、安定した経済成長が確認されました。このような環境下、米ドル建てブラジル債券の対米国債スプレッドは縮小しました。

メキシコでは、2023年10-12月期のGDPが前年同月比+2.5%となり、安定した経済成長が確認されました。このような環境下、米ドル建てメキシコ債券の対米国債スプレッドは縮小しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村エマージング・ソブリン 円投資型1303]

[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド] 受益証券の組入比率を高位に維持しました。

定時償還に伴い、[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド] 受益証券の売却を実施し、現金化しました。

[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド]

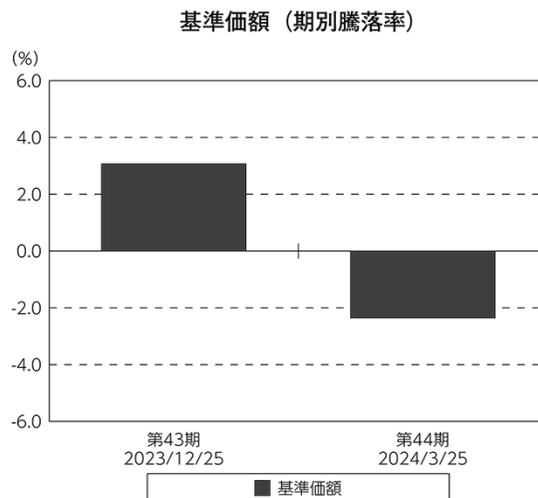
信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8カ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。当作成期首から2024年1月中旬までブラジル、インドネシア、ハンガリー、ルーマニア、南アフリカ、メキシコ、ペルー、コロンビアに投資を行ないました。資金対応のため、1月中旬にインドネシアを売却し、投資国をブラジル、ハンガリー、ルーマニア、南アフリカ、メキシコ、ペルー、コロンビアの7カ国としました。また、外貨建資産については、対円でヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

その後、償還準備のため、米ドル建ての新興国債券を売却しました。米ドルを売り、日本円を買う為替ヘッジ取引の解消を行ないました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から次の通りとさせていただきます。第44期では、償還のため分配は行ないませんでした。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないました。

	第43期
1口当たり分配金（税込み）	45円

◎設定来の運用経過

＜設定来の基準価額の推移＞



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円が償還時に7,857.39円となりました。設定来、分配金を1口当たり1,950円お支払いしましたので、分配金を考慮した値下がり額は192.61円となりました。

【第1-44期】

(上昇要因)

- ・債券を保有していたことによる利息収入（インカムゲイン）。

(下落要因)

- ・対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。
- ・保有していた債券の値下がり（キャピタルロス）。

当ファンドは、2024年3月25日をもちまして償還となりました。設定以来のご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

○ 1口当たりの費用明細

(2023年9月26日～2024年3月25日)

項 目	第43期～第44期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 45	% 0.574	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(18)	(0.230)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(26)	(0.328)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	8	0.096	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(7)	(0.095)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	53	0.670	
作成期間の平均基準価額は、7,871円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

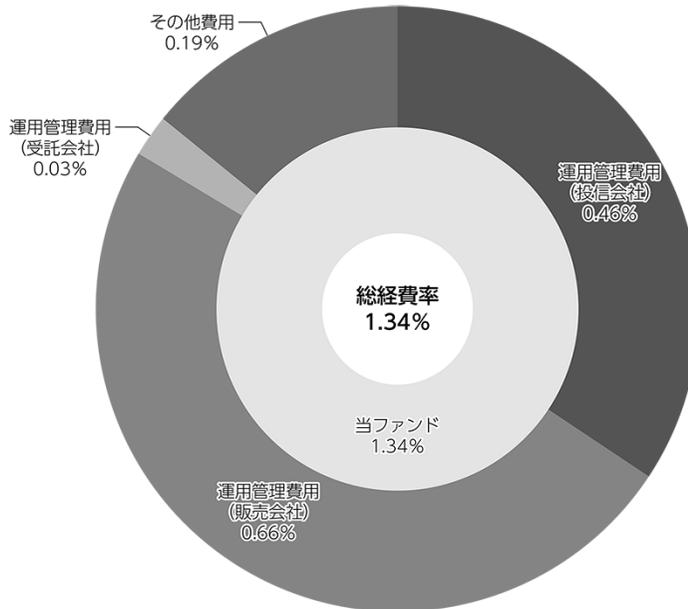
* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.34%です。



(注) 当ファンドの費用は1口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年9月26日～2024年3月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第43期～第44期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
野村エマージング・ソブリン	円投資型 マザーファンド	—	—	48,652	59,421

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年9月26日～2024年3月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年3月25日現在)

2024年3月25日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	第42期末	
		口	数
			千口
野村エマージング・ソブリン	円投資型 マザーファンド		48,652

*単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年3月25日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	58,840	100.0
投資信託財産総額	58,840	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還(基準)価額の状況

項 目	第43期末	償 還 時
	2023年12月25日現在	2024年3月25日現在
	円	円
(A) 資産	60,836,121	58,840,910
コール・ローン等	664,323	58,840,792
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド(評価額)	60,171,798	—
未収利息	—	118
(B) 負債	506,534	169,804
未払収益分配金	337,365	—
未払信託報酬	168,882	169,512
その他未払費用	287	292
(C) 純資産総額(A-B)	60,329,587	58,671,106
元本	74,970,000	74,670,000
次期繰越損益金	△14,640,413	—
償還差損金	—	△15,998,894
(D) 受益権総口数	7,497口	7,467口
1口当たり基準価額(C/D)	8,047円	—
1口当たり償還価額(C/D)	—	7,857円39銭

(注) 設定年月日2013年3月27日、設定元本額は1,343,530,000円、第43期首元本額は74,970,000円、当作成期末における元本残存率は5.5%、1口当たり純資産額は、第43期8,047円、第44期7,857.39円です。

○損益の状況

項 目	第43期	第44期
	2023年9月26日～ 2023年12月25日	2023年12月26日～ 2024年3月25日
	円	円
(A) 配当等収益	—	119
受取利息	—	119
(B) 有価証券売買損益	48,190	△ 1,249,988
売買益	48,190	5,417,540
売買損	—	△ 6,667,528
(C) 有価証券評価差損益	1,928,735	—
(D) 信託報酬等	△ 169,169	△ 169,932
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	1,807,756	△ 1,419,801
(F) 前期繰越損益金	△16,110,804	△14,640,413
(G) 解約差損益金	—	61,320
(H) 計(E+F+G)	△14,303,048	—
(I) 収益分配金	△ 337,365	—
次期繰越損益金(H+I)	△14,640,413	—
償還差損金(E+F+G)	—	△15,998,894

* 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年3月27日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年3月25日			資産総額	58,840,910円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	169,804円	
受益権口数	134,353口	7,467口	△ 126,886口	純資産総額	58,671,106円	
元本額	1,343,530,000円	74,670,000円	△1,268,860,000円	受益権口数	7,467口	
				1口当たり償還金	7,857円39銭	
最近10年の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1口当たり分配金		
				金額	分配率	
第4期	1,293,360,000円	1,220,728,000円	9,438円	45円	0.45%	
第5期	1,241,220,000	1,203,276,458	9,694	45	0.45	
第6期	1,098,260,000	1,061,346,338	9,664	45	0.45	
第7期	1,052,960,000	1,021,906,329	9,705	45	0.45	
第8期	990,920,000	969,095,847	9,780	45	0.45	
第9期	835,820,000	808,331,915	9,671	45	0.45	
第10期	766,320,000	727,424,933	9,492	45	0.45	
第11期	258,710,000	241,505,092	9,335	45	0.45	
第12期	241,810,000	233,405,787	9,652	45	0.45	
第13期	186,210,000	182,811,678	9,818	45	0.45	
第14期	173,310,000	173,109,823	9,988	45	0.45	
第15期	167,610,000	159,247,731	9,501	45	0.45	
第16期	160,910,000	155,300,006	9,651	45	0.45	
第17期	144,210,000	141,250,303	9,795	45	0.45	
第18期	127,710,000	125,699,545	9,843	45	0.45	
第19期	125,710,000	122,413,329	9,738	45	0.45	
第20期	123,410,000	116,684,943	9,455	45	0.45	
第21期	122,410,000	112,785,512	9,214	45	0.45	
第22期	117,410,000	105,778,444	9,009	45	0.45	
第23期	111,360,000	99,737,015	8,956	45	0.45	
第24期	111,360,000	101,860,290	9,147	45	0.45	
第25期	111,360,000	104,390,742	9,374	45	0.45	
第26期	105,570,000	99,821,885	9,456	45	0.45	
第27期	103,270,000	96,879,683	9,381	45	0.45	
第28期	101,270,000	85,100,596	8,403	45	0.45	
第29期	98,270,000	92,064,933	9,369	45	0.45	
第30期	91,270,000	86,745,337	9,504	45	0.45	
第31期	90,270,000	88,215,890	9,772	45	0.45	
第32期	90,270,000	85,399,337	9,460	45	0.45	
第33期	84,970,000	81,866,660	9,635	45	0.45	
第34期	83,970,000	80,543,138	9,592	45	0.45	
第35期	83,970,000	79,324,078	9,447	45	0.45	

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第36期	83,970,000円	75,007,365円	8,933円	45円	0.45%
第37期	80,970,000	67,715,212	8,363	45	0.45
第38期	80,470,000	65,119,329	8,092	45	0.45
第39期	79,970,000	65,458,112	8,185	45	0.45
第40期	79,970,000	65,307,912	8,167	45	0.45
第41期	75,970,000	61,380,276	8,080	45	0.45
第42期	74,970,000	58,859,196	7,851	45	0.45
第43期	74,970,000	60,329,587	8,047	45	0.45
信託期間中1口当たり総収益金及び年平均収益率				△192円61銭	－%

○分配金のお知らせ

第43期	
1口当たり分配金（税込み）	45円

○償還金のお知らせ

償還時	
1口当たり償還金（税込み）	7,857円39銭

○お知らせ

該当事項はございません。

野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド

償還運用報告書

第13期（償還日2024年3月22日）

作成対象期間（2023年10月25日～2024年3月22日）

受益者のみなさまへ

野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンドの設定日以降、償還までの運用状況をご報告申し上げます。
ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、米ドル建ての新興国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なうことを基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
主な投資対象	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行いません。株式への投資は、転換社債を転換したもの等に限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
9期(2020年10月26日)	円 銭 13,420		% 5.2	% 95.6	% —	百万円 24,863
10期(2021年10月25日)	13,588		1.3	101.0	—	21,641
11期(2022年10月24日)	11,535		△15.1	103.2	—	15,683
12期(2023年10月24日)	11,842		2.7	97.8	—	7,354
(償還時) 13期(2024年3月22日)	(償還価額) 12,212.27		3.1	—	—	58

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

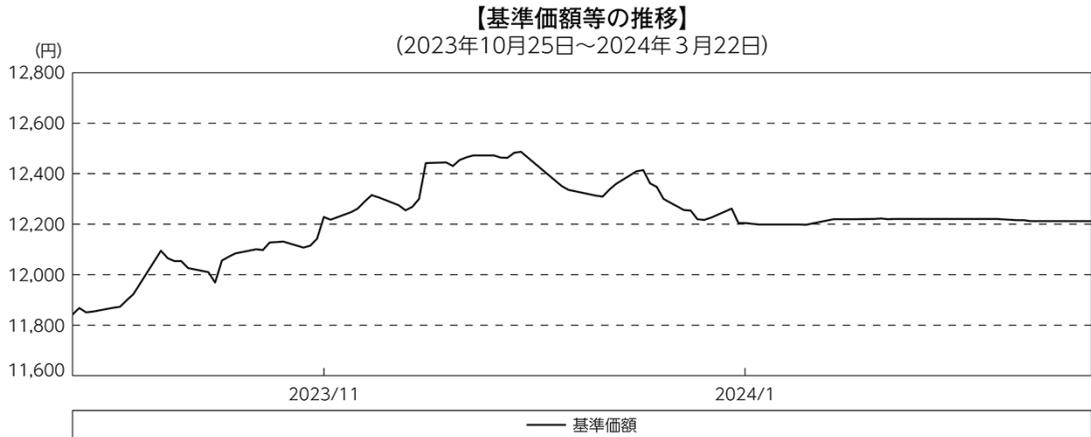
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰	落率			
(期首) 2023年10月24日	円 銭 11,842		% —	% 97.8	% —	% —
10月末	11,873		0.3	97.8	—	—
11月末	12,228		3.3	93.0	—	—
12月末	12,487		5.4	96.0	—	—
2024年1月末	12,204		3.1	—	—	—
2月末	12,221		3.2	—	—	—
(償還時) 2024年3月22日	(償還価額) 12,212.27		3.1	—	—	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は3.1%の上昇。

基準価額は、当作成期首の11,842円から当作成期末12,212.27円となりました。値上がり額は370.27円となりました。

- (上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン（利息収入）。
- (上昇) 保有していた債券の値上がり（キャピタルゲイン）。
- (下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

○当ファンドのポートフォリオ

信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8カ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。当作成期首から2024年1月中旬までブラジル、インドネシア、ハンガリー、ルーマニア、南アフリカ、メキシコ、ペルー、コロンビアに投資を行ないました。資金対応のため、1月中旬にインドネシアを売却し、投資国をブラジル、ハンガリー、ルーマニア、南アフリカ、メキシコ、ペルー、コロンビアの7カ国としました。また、外貨建資産については、対円でヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

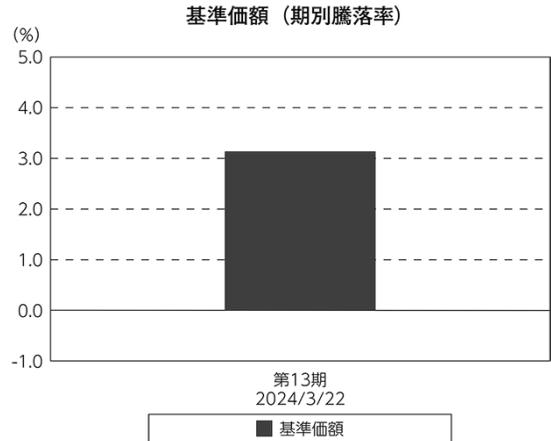
その後、償還準備のため、米ドル建ての新興国債券を売却しました。米ドルを売り、日本円を買う為替ヘッジ取引の解消を行ないました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。

また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎設定来の運用経過

＜設定来の基準価額の推移＞



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円が償還時に12,212.27円となりました。基準価額の値上がり額は2,212.27円となりました。

【第1-13期】

(上昇要因)

- ・債券を保有していたことによる利息収入（インカムゲイン）。

(下落要因)

- ・対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。
- ・保有していた債券の値下がり（キャピタルロス）。

当ファンドは、2024年3月22日をもちまして償還となりました。設定以来のご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2023年10月25日～2024年3月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 2 (2)	% 0.013 (0.013)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	2	0.013	
期中の平均基準価額は、12,202円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年10月25日～2024年3月22日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ		千米ドル	千米ドル
		国債証券	—	46,751
		社債券（投資法人債券を含む）	—	3,098

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2023年10月25日～2024年3月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年3月22日現在)

2024年3月22日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2024年3月22日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 58,521	% 100.0
投資信託財産総額	58,521	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2024年3月22日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	58,521,810
コール・ローン等	58,521,456
未収利息	354
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	58,521,810
元本	47,920,511
償還差益金	10,601,299
(D) 受益権総口数	47,920,511口
1万口当たり償還価額(C/D)	12,212円27銭

(注) 期首元本額は6,210,147,605円、期中追加設定元本額は163,762円、期中一部解約元本額は6,162,390,856円、1口当たり純資産額は1.221227円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・野村エマージング・ソブリン 円投資型1303 47,920,511円

○損益の状況 (2023年10月25日～2024年3月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	48,702,429
受取利息	48,711,278
支払利息	△ 8,849
(B) 有価証券売買損益	202,926,757
売買益	605,571,452
売買損	△ 402,644,695
(C) 保管費用等	△ 348,837
(D) 当期損益金(A+B+C)	251,280,349
(E) 前期繰越損益金	1,144,199,068
(F) 追加信託差損益金	36,238
(G) 解約差損益金	△1,384,914,356
償還差益金(D+E+F+G)	10,601,299

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。